

公安委員会 説明資料 No. 1	初任科第 93 期（長期課程）卒業式の挙 行について	令和 6 年 1 月 11 日 警 務 部
---------------------	-------------------------------	--------------------------

報告事項

初任科第 93 期生（長期課程）22 人は、県警察学校における 10 か月間の初任教養を修了し、1 月 26 日、卒業する。卒業後は、警察署に配属され、採用時教養の一環として、職場実習を行う。

1 日時・場所

令和 6 年 1 月 26 日（金）午後 1 時 30 分～
県警察学校体育館

2 卒業生

- (1) 初任科第 93 期生（長期課程）22 人（うち女性 4 人）
- (2) 教養期間
令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 1 月 26 日（入校日数 301 日）
- (3) 年齢（卒業時）
最年長 27 歳 3 か月 最年少 18 歳 11 か月 平均 20 歳 0 か月

3 出席者

- (1) 来賓
知事、県議会議長（代理 総務常任委員長）、高松地方検察庁検事正
- (2) 警察関係
公安委員会委員長、警察本部長、警察本部各部長、首席監察官、地域監等
- (3) その他
卒業生家族

4 式次第

裏面のとおり

5 その他

卒業生は、県下各警察署に配属され、職場実習を行う。

初任科第 93 期（長期課程）卒業式次第

- 1 開式
- 2 国歌斉唱
- 3 卒業証書授与
- 4 本部長賞誉授与
- 5 優等証書及び表彰状授与
- 6 学校長式辞
- 7 辞令交付
- 8 本部長訓示
- 9 公安委員会委員長挨拶
- 10 来賓祝辞
 - 知事
 - 県議会議長
 - 高松地方検察庁検事正
- 11 卒業生代表答辞
- 12 香川県警察歌斉唱
- 13 閉式

公安委員会 説明資料 No. 2	国家賠償請求事件の発生について	令和6年1月11日 警務部
---------------------	-----------------	------------------

報告事項

香川県及び国を被告として、国家賠償請求事件が提起されたので、関係機関と連携して応訴することとする。

1 提訴年月日

令和5年12月7日

2 係属機関

東京地方裁判所

3 原告

A男

4 被告

香川県（代表者 香川県知事 池田 豊人）
及び国（代表者 法務大臣 小泉 龍司）

5 請求の趣旨

原告は、過去5回、殺害行為を受けたが、その1回は香川県警察の警察官が関与していたにもかかわらず、その者等を立件せず、検察庁もその事実を把握していながら手抜き捜査で起訴しなかった上、警察及び検察は、原告に対する保護義務を怠った不作為により、後の4回の殺害行為を容易にし、犯行を助長させた。これらに関する一連の行為が違法行為に該当するものであるとして、損害賠償や訴訟費用の負担を求めて提訴したもの

6 対応方針

訴訟代理人を選任するとともに指定代理人を指名し、国（検察庁）と連携の上組織的に対応する。

報告事項

令和5年中の交通事故死者数は3年連続減少し、統計資料が残る昭和23年以降2番目に少ない33件33人（前年比－2人）となった。

高死者に占める高齢者の割合が約7割を占めたほか、夜間の割合が約6割を占めた。

1 交通事故の発生状況

区 分	令4年	令5年	増減数	増減率(%)
発生件数	3,144	3,041	－103	－3.3
死者数	35	33	－2	－5.7
負傷者数	3,730	3,712	－18	－0.5
重傷者数	232	267	＋35	＋15.1
高齢者死者数※	7.89	7.28	－0.61	－7.7

※ 高齢者死者数は高齢者人口10万人当たり

2 交通死亡事故（33件33人）の主な特徴 注：令和4年は32件35人で、[]内は同年の数値を示す。

(1) 【当事者別】 四輪の死者数が大きく減少

○ 歩行者13人[15人]、自転車8人[5人]、二輪・原付6人[3人]、四輪6人[12人]

※ シートベルト非着用3人[7人]、助命可能性あり2人[2人]

(2) 【類型別】 車両単独の死者数が大幅に減少するも、車両相互は増加

○ 人対車両12人[12人]（うち道路横断中6人[9人]）、車両相互12人[6人]（うち自転車4人[3人]、二輪4人[1人]、四輪4人[2人]）、車両単独8人[15人]、列車1人[2人]

(3) 【年齢別】 高齢者の死者数が全死者の約7割

○ 高齢者22人（66.7%）[24人（68.6%）]

※ 内訳：歩行者10人[12人]、自転車5人[4人]、二輪5人[0人]、四輪2人[8人]

(4) 【昼夜別】 夜間の死者数が大幅に増加

○ 昼間13人（39.4%）[21人（60.0%）] 夜間20人（60.6%）[14人（40.0%）]

3 交通事故死者数の年別推移

区 分	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	過去5年(平30～令4年)平均
交通事故死者数 (人)	44	47	59	37	35	33	44.4
人口10万人当たり死者数 (人)	4.55	4.89	6.17	3.89	3.72	3.53	4.64
全国ワースト順位 (位)	6	3	1	3	4	5	—
うち高齢者死者数 (人)	28	24	44	22	24	22	28.4

4 令和6年の交通死亡事故抑止推進重点

- (1) 交通安全思想の普及促進
- (2) 安全運転の確保
- (3) 道路交通秩序の維持
- (4) 道路交通環境の整備